

## 伊賀忍者と薬草

伊賀忍者と薬草の関係を紐解くと、忍者たちは薬草や毒草の知識を駆使して任務を遂行していたようです。

彼らは自然の中で生き抜くために、薬草を使って傷を癒したり、毒草を使って敵を倒したりしていました。



例えば、ドクダミやトリカブトが使われていたと言われています。ドクダミはたくさん効果があるので十薬ともよばれ利尿、便秘改善作用があり毒下しとして。抗菌作用もあるのです。もんで汁を傷や腫れものに。トリカブトは毒汁を手裏剣や矢に塗りつけて使っていたようです。

春になるとドクダミ、ヨモギ、スギナといった薬草が芽吹きだ

します。これらは春になるとよく見かけるものですが、都心や高山地帯、乾燥している地域ではあまり見かけないものでもあります。伊賀は薬草の宝庫であり、伊賀忍者が薬売りとして化けて行脚していたというのもうなずけます。

ちなみに、庭に生えているドクダミを減らしたい場合は、引き抜くのではなく、根っこに気づかれないように

本会では「お薬の出前講座」を行っております。  
詳しくは下記までお問い合わせ下さい。

ハサミでそっと切り取るという方法が有効だそうです。  
〈PR〉

伊賀薬剤師会 検索 <http://www.igayaku.or.jp>

**☎0595-26-7270**

伊賀市四十九町831-4